

分かりやすく紹介してください。

知財支援人材スキルマップの分かりやすい紹介

目的と背景

目的:

- ・知財支援業務の体系的整理
- ・INPIT内の研修や支援体制の改善
- ・中小企業の知財経営支援促進

背景:

- ・年間12万件以上の相談事例に基づく
- ・知財業界の最新動向を反映

全体構成と対象人材

全体構成:

- ・概要説明書
- ・スキルマップ体
- ・研修教材対応版

対象人材:

- ・知財経営支援人材(A)
- ・知財支援人材(B-1・B-2)、リエゾン人材(C)など

業務内容とスキルの体系

業務(縦軸):

- ・個別支援(準備、実支援、フォロー)
- ・全体支援
- ・セミナー、支援周辺業務など

スキル(横軸):

- ・知識系と実践系に分類
- ・基礎レベルと応用レベルの設定

スキル評価方法と活用

評価基準	S	A	B	C/D
点数	10点以上	6点以上	3点以上	1点以上/0点
レベル	最高レベル	上級	中級	初級/未達
活用シーン	・研修計画や個々のスキルアップのための自己評価 ・研修教材とスキルの対応が明示された効率的な学習支援			

まとめ

・「知財支援人材スキルマップ」は、INPITが実績と最新の知財状況をもとに作成した、人材のスキルレベルや研修の方向性を明確にするためのツールです。

・各業務に対してどのレベルの知識と実践力が求められているかを、体系的な一覧表で分かりやすく示しているため、個人の自己研鑽や組織の人材育成に大いに役立ちます。

以下は「知財支援人材スキルマップ」の内容を分かりやすくまとめた紹介です。

目的と背景

● 目的

- ・知財支援に関わるさまざまな業務を体系的に整理し、求められるスキルや能力を明確にする
- ・INPIT内の研修や支援体制の改善を図り、最終的には中小企業などの知財経営支援の促進を目指しています

● 背景

- ・年間12万件以上の相談事例をもとに、現場の実情に即したスキルを検討
 - ・知財業界の最新動向(例:スタートアップの支援、IPランドスケープ、特許出願非公開制度など)を反映している
- [1## 全体構成と対象人材

● 全体構成

- ・【概要説明書】:スキルマップ全体の解説
- ・【スキルマップ体】:各業務に必要なスキルを一覧表形式で提示

- ・【研修教材対応版】：INPITが有する研修教材との対応を明記し、研修計画の策定を容易にする
- 対象となる人材
 - ・知財経営支援人材（A）
 - ・知財支援人材（B）（その中でも「標準」レベル（B-1）と「卓越」レベル（B-2）に分類される）
 - ・知財リエゾン人材（C）やその他専門家（D）など、役割に応じたスキル要求が設定されています[1]

業務内容とスキルの体系

- 業務縦軸) の分類
 - 別支援：相談内容に応じた具体的な支援（支援前の準備、実支援、フォロー）
 - ・全体支援：複数企業や組織に対する総合的なサポート
 - ・セミナー（研修、講演）や支援周辺業務（広報、ネットワーク構築）なども含まれています
- スキル（横軸）の設定
 - ・各業務に必要なスキルは、【知識系】（書籍や専門文献で学ぶ理論的な知識）と【実践系】（実務経験や実績を通して習得する能力）に分かれ、基礎レベルと応用レベルに分されています
 - ・各人の担当業務ごとに、スキルの達成度がA、B、C、Dまたはさらに上位のS（Aより高度）という記号で示され、目標となるレベルが設定されます[1]

スキル評価方法と活用

- 評価方法
 - ・各スキルについて、基礎レベルと応用レベルの項目を満たしているかを点数化（例：基礎項目を満たすと1点、完全に応用レベル満たすと2点などし、知識、経験、指導などの評価基準に基づいて合計点数を算出）
 - ・合計点に応じて評価区分がS（10点以上）、A（6点以上）、B（3点以上）、C（1点以上）、D（0点）とな、実際のスキル習得状況と照らし合わせて判断されます
- 活用シーン
 - ・研修計画や個々のスキルアップのための自己評価に利用できる
 - ・また、どの研修教材がどのスキルに対応しているが明示されているため、効率よく必要な知識や技術を習得するポイントとなります[1]

まとめ

- 「知財支援人材スキルマップ」は、INPITが実績と最新の知財状況をもとに作成した、人材のスキルレベルや研修の方向性を明確にするためのツールです。
- 各業務に対してどのレベルの知識と実践力が求められているかを、体系的な一覧表で分かりやすく示しているため、個人の自己研鑽や組織の人材育成に大いに役立ちます。

以上が、知財支援人材スキルマップの基本的な構成とその特徴についての分かりやすい紹介です。[1]

1. [100884359.pdf](#)